



岐阜県鋳工業指数（平成23年4月分）

生産指数 前月比 8.0%の低下

平成22年1月以降の指数値について、年間補正を行いました。

1 概況

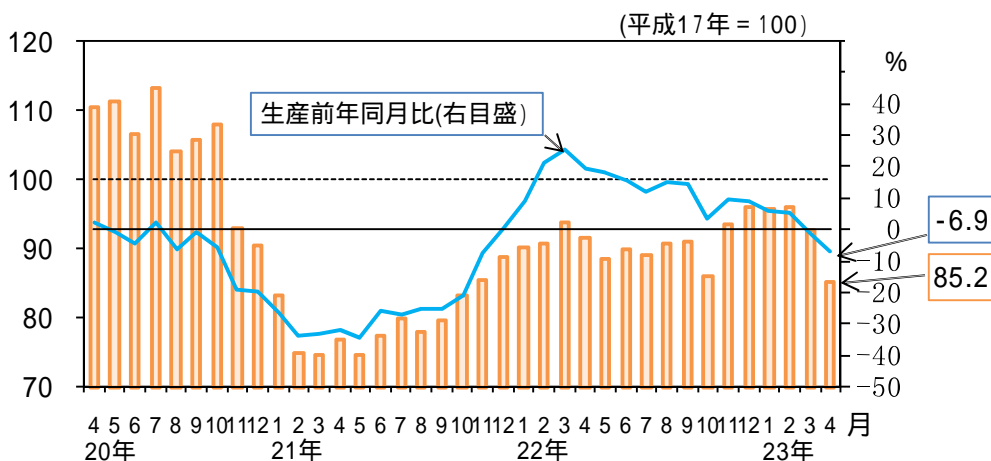
平成23年4月の県内鋳工業の動向を季節調整済指数で見ると、プラスチック製品工業、その他工業等が上昇したものの、電子部品・デバイス工業、化学工業等が低下したため、前月に比べ生産指数は8.0%減と4カ月連続で低下した。また、出荷指数は5.4%減と前月に引き続き低下し、在庫指数は2.8%減と3カ月ぶりに低下した。

なお、原指数で前年同月比をみると、生産指数は6.9%減となり、前月に引き続き前年を下回った。

(平成17年 = 100)

区 分	季節調整済指数		原指数	
		前月比 (%)		前年同月比 (%)
生産	85.2	8.0	83.8	6.9
出荷	90.0	5.4	88.3	5.3
在庫	107.8	2.8	105.8	1.4

鋳工業指数(生産)推移



注：指数値は季節調整済、前年同月比は原指数による

季節調整済指数・季節的、社会制度による1年を周期として繰り返される変動を取り除いて指数化したもの。
原指数・調査によって得られた数値をそのまま指数化したもの。

2 主要業種の動向

主要業種別に季節調整済指数を前月と比べると、金属製品工業の生産は、軽金属板製品（産業用品）鉄骨等が増加したものの、橋りょう、アルミサッシ等が減少したため、16.2%減と前月に引き続き低下した。また、出荷は11.0%減と前月に引き続き低下し、在庫は4.9%減と3カ月ぶりに低下した。

機械工業の生産は、ステアリング装置、油圧機器等が増加したものの、電子回路基板、乗用車ボデー等が減少したため、9.2%減と4カ月連続で低下した。また、出荷は8.7%減と前月に引き続き低下し、在庫は2.3%減と3カ月ぶりに低下した。

窯業・土石製品工業の生産は、触媒担体・セラミックフィルタ、生石灰等が減少したものの、耐火れんが（不定形耐火物を除く）、生コンクリート等が増加したため、1.2%増と前月に引き続き上昇した。また、出荷は0.2%減と6カ月ぶりに低下し、在庫は0.4%増と上昇に転じた。

化学工業の生産は、無水酢酸が増加したものの、医薬品、触媒（自動車排気ガス浄化用）等が減少したため、15.1%減と4カ月連続で低下した。また、出荷は12.4%減と3カ月連続で低下し、在庫は6.9%減と3カ月ぶりに低下した。

プラスチック製品工業の生産は、ホース（プラスチック製）、プラスチック製機械器具部品等が減少したものの、プラスチック製フィルム、パイプ等が増加したため、4.9%増と3カ月ぶりに上昇した。また、出荷は8.5%増と3カ月ぶりに上昇し、在庫は1.3%増と3カ月連続で上昇した。

主要業種別動向

(季節調整済、平成17年=100)

区 分	生 産			出 荷			在 庫		
	指 数	前 月 比 (%)	前年同月比 (%)	指 数	前 月 比 (%)	前年同月比 (%)	指 数	前 月 比 (%)	前年同月比 (%)
金属製品工業	79.4	16.2	13.2	81.2	11.0	13.9	86.6	4.9	2.2
機械工業	81.5	9.2	12.0	91.9	8.7	6.0	120.4	2.3	2.8
一般機械工業	88.5	0.2	13.1	117.5	10.5	13.5	-	-	-
電子部品・デバイス工業	97.5	24.8	0.4	99.7	24.4	0.3	-	-	-
輸送機械工業	52.3	11.1	55.3	57.3	3.7	47.3	-	-	-
窯業・土石製品工業	85.3	1.2	17.2	86.6	0.2	18.5	82.0	0.4	2.8
化学工業	102.6	15.1	13.4	99.2	12.4	14.8	98.4	6.9	1.1
プラスチック製品工業	104.5	4.9	3.9	111.3	8.5	2.4	92.2	1.3	11.8

前年同月比は原指数による

主要業種別鉱工業生産指数

(季節調整済、平成17年=100)

